

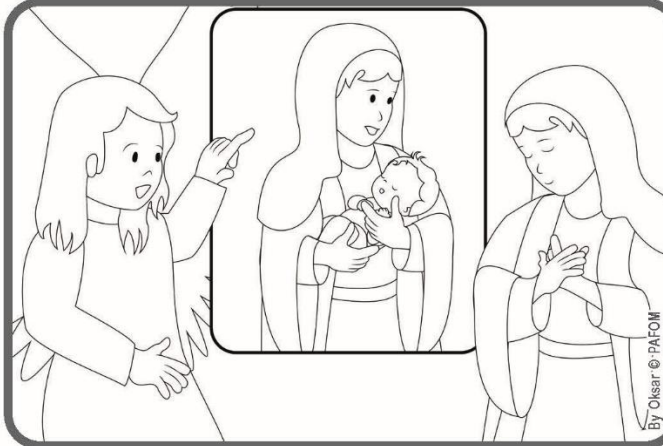


かみさまはすばらしいことをなさいます。
かみさまはすべてがかのうです。

かみにできないことはなにひとつない。
(ルカ 1・37)



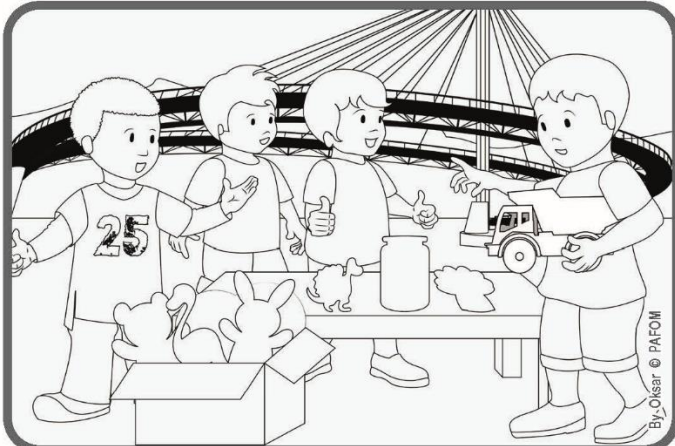
マリアはパレスチナのちいさなまち、ナザレにすんでいます。ひとりでいえずかに、こころのなかのかみさまにいのっています。でもなにがおこったのでしょうか？ かみさまがおくれた、てんしがブリエルがあらわれます。



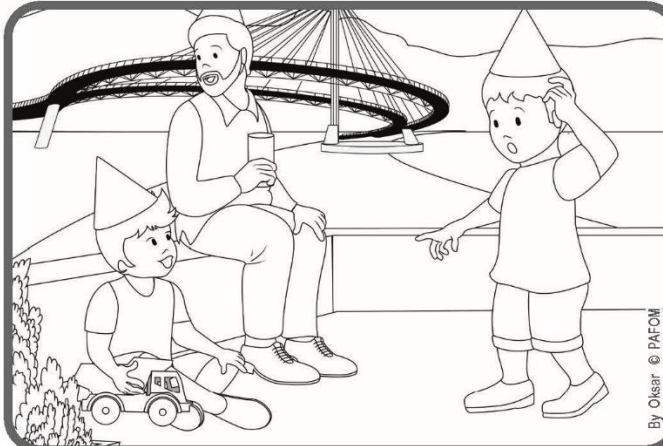
てんしはいました。「おそれることはない。かみのイエスのいはとなることをあなたにつげるため、かみさまはわたしをつかわしました。」マリアはとてもびっくりしました。「かみにできないことはなにひとつない」とてんしはいました。



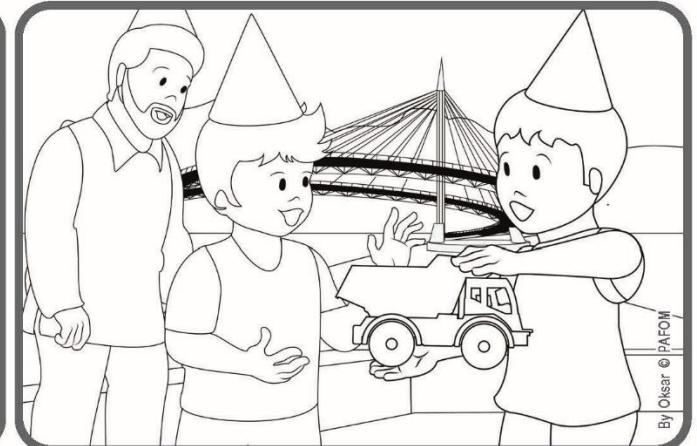
しんせきのエリザベトのことをはなします。「しをとっていますがあかちゃんがつまれます。」マリアはあはれをもって「はい！ かみさまがおのぞみなら、わたしもそれをのぞみます。」とこえをします。そしてエリザベトをたすけるためたびげちます。



ジェン 4 たちはまずしいひとたちをたすけるためのバザーにたくさんのおもちゃをだしました！ ぼくもチケットをかってすてきなおもちゃをもらったんだ！ こないちおもちゃをあげるんで、ジェン4たちどうしてできるんだろう？ ぼくにはできないとおもった！



なんにちかあと、いとこのたんじょうびだった。ぼくのいえにきてずっとぼくがもらったおもちゃであそんでいた。ゆうがたになり、それをもってかえりたいといった。おとうさんは、「おまえのじゃないからここにおいてきなさい！」といった。



いとこがあんまりほしいというので、おとうさんはなんにちかんだけかしてもらいなさいとはなした。ぼくはこころのなかのイエスさまのこえをきき、はっきりいったんだ！「いいよ、もってかえって！ きみにあげるよ！
ホントに、イエスさまはなんでもおできになるよ！
イタリアのペスカーラより